

団 体 紹 介



江南モラロジー女性クラブ

鷹見孝子

「モラロジー」って何？と聞かれることも少なくなりました。



女性連絡協議会に最初から参加しニューモラル誌を毎月配布させていただくようになって、楽しみにして下さる方も増えてきました。

人と人のつながりの中で、大切な道徳が学校の教科書になり、毎年すいといあ江南で中学校の先生方の勉強会が開催され、お手伝いをしています。

女性クラブの集まりは、毎月福祉センターで女性講師に来ていただいています。そして、勉強会と親睦を図っています。人間は一人では生きていけないから、人とのつながりが大切になり、道徳は、必要になってきます。高齢化の中でも仲間と繋がって元気に学習していきたいと願っています。



仲良し会

～ 消費者市民社会を目指し エシカル消費 ～

今井節子

江南市女性連絡協議会創立 30 周年おめでとうございます。

私どもの主な活動は、消費者の意識向上や地域社会づくりに貢献しながら身近な消費者問題に取り組んでいます。具体的な活動は、環境（省エネ・防災）教育、食育、国際交流、の啓発活動に、学習会、見学会等、地道な草の根運動を行っています。それに加え「エシカル消費」にも注目しています。

「エシカル消費」とは

そもそも「エシカル」とは英語で「倫理的な」という意味で、法律の縛りはないけれども多くの人が正しいと思うこと、または本来人間が持つ良心から発生した社会的規範を意味します。そこから派生して、今では、人や社会、地球環境、地域に配慮した考え方や行動のことをさすようになりました。今の時代、どんな人も消費者であるという点から、エシカル消費（倫理的消費）という概念が注目されているのです。

私たちが普段食べたり、飲んだり、着たり、使ったりしている製品は全て、誰かがどこかで作ってくれています。しかし、今の世の中、私たち消費者が製品を手にした時、その裏側にはどんな背景があるか、なかなか知ることができません。もしかしたら、その背後には劣悪な環境で長時間働く生産者や、教育を受けられず強制的に働かされている子どもたち、美しい自然やそこに住む動植物が犠牲になっているかもしれません。「エシカル」な消費とは、そういったことがないような製品を購入することで、いわば「顔の見える消費」とも言えます。

今、世界の緊急課題である、貧困・人権・気候変動の 3 つの課題を同時に解決していくために、「エシカル」という概念はとても有効です。

日本においては、消費者庁が 2015 年 5 月から 2 年かけて『『倫理的消費』調査研究会』を開催し、エシカル消費の枠組みづくりが行われました。

エシカル消費は間口が広く、「エシカル」という大きな傘の下に「フェアトレード」を筆頭に「オーガニック」や「地産地消」「障がい者支援につながる商品」など幅広い消費の形があります。

私たちは日々の暮らしの中から、買い物を通じて、世界が抱えている問題を解決に導く一端を担うとても身近なアクションなので、今日から、明日から、誰にでもできる社会への貢献、エシカル消費を推進啓発していきます。



わかば

高田朝子



昭和 59 年（1984 年）当時我が子たちが小学校 4 年生の学級委員たちがつどい、「わかば婦人学級」が誕生。それからは江南市生涯学習課と共にセミナーの開催や自己研鑽のための自主事業を展開してまいりましたが、いつしか時間が過ぎてみると会員の顔ぶれも変わり、当時の活動も変化してきました。

平成 2 年（1990 年）に女性連絡協議会が設立されそのメンバーの一グループとして加盟し、平成 13 年より協議会の代表を務めるようになりました。「わかば」は、自然に女性連絡協議会を支える活動となってきました。

初めは、子どもの成長を願って情報交換が盛んに行われ、特に環境を守る活動を盛んにしていました。水をテーマに環境問題に深く関心を抱き、木曽川の水質を守る活動からスタートしました。当時は、ゴルフ場の乱開発が盛んに行われており、ゴルフ場に散布する除草薬が木曽川の上流から流れ、我々の飲料水となるのを避けたいのと、これ以上ゴルフ場のために山林を切り倒すことを止めなくてはと、立木トラストに参加をし、木々 1 本一本に自分の名前を括り付けて頑張ってみました。なかなか一筋縄では変えられない環境問題。いまでは、温暖化の波は止まることを知らず、地球が悲鳴を上げています。男女共同参画社会の実現も同じくここ何十年も活動してきましたが、目に見えた変化はなく、少しずつしか変わらないのが社会環境と人々の習慣や考え方です。でも、諦めず続けることが大切です。ノーベル平和賞受賞のパキスタン人マララ・ユスフザイさん（22 歳）やスウェーデン人「環境保護活動家」のグレタ・トゥーンベリさん（16 歳）各国の若い女性たちが勇気と力を発揮しています。次世代に期待と応援をしていきたいと思ひます。



体操協会 リトルジュニア・それいゆ・ひまわり

服部直子 伊神秀美



30周年おめでとうございます。女性連絡協議会初代会長、田中園子先生との出会いが始まりでした。26年前になります。力強い言葉と背筋が伸びて凛とした姿に惹かれ、体操協会に入会し、子どもの教室「リトルひまわり」の指導も手伝い始めました。

その後、連絡会の会議に出席するようになり、皆さんの熱いパワーに刺激を頂いていました。女性が輝く社会を目指して高い理想を胸に、地域に根差した活動をされる皆さんと一緒に歩いてこられたことは、誇りに思い感謝しています。昨今、家庭において女性の立場は向上されてきたと感じますが、社会においては、国、県、市議会においてもまだまだ難しい現実があります。新団体、個人会員の加盟も有り連絡会の今後の活動が楽しみです。私たちは今、体操協会です大人と子どもの指導をしています。これからも健康な身体で、自分の出来る活動をしていきたいと思えます。



体操協会 ジョイフル・ニイハオ・ヴィヴィアン

長谷川百合子・佐橋みどり

体操協会も今年で46周年を迎えました。毎年10月の第4土曜日に体操祭が開催されます。2、3歳の幼児から80歳の方まで一同に日頃の練習を発表いたします。私が入会したのは30数年前昭和60年頃でした。自分の年齢の半分以上体操中心の生活で毎日が楽しく充実した日々でした。

その後、女性連絡会の会員となりました。

5月の総会、7月の映画会では担当の方のお手伝いをさせて頂き文化会館や学習等供用施設での高齢者教室等に出向き上映される映画のチラシ配りとかチケット販売もしました。

8月の国際交流フェスティバルの参加もとても楽しかったです。環境委員会のフェスティバルや施設見学会にも参加させて頂きとても良い経験をいたしました。

最近の新しい理事さんも増えてきました。そういう若い理事さんに大いに活躍して頂き女性連絡会を今以上に充実した会にして頂きたいと思っています。これからもよろしくお願いします。



新日本婦人の会 江南支部

中 村 き わ

江南の新日本婦人の会は、4つのグループに分かれています。グループでは、絵手紙・書画・読書会・手芸・生け花・太極拳・ダンベル・山歩き・けん玉・吹き矢などのサークルを作り活動しています。



私は、読書会にも参加しています。いろいろな本を読みましたが一番心に残っているのは、島崎藤村の「夜明け前」です。文庫本で6冊あります。それをみんなで交代で音読します。そして疑問や意見などを出し合います。手紙文には、「候」も入っているのでとても読みにくいのですがみんなで読みあうと何とかわかりました。一人で読んでいたら終わりまで読めなかったかもしれません。全部読み終わった後みんなで夜明け前の舞台であった馬籠に旅行したのも楽しい思い出になりました。

また、新日本婦人の会は、サークル活動だけでなくほかの活動もしています。インフルエンザワクチンの助成制度の署名活動もしました。13歳未満の子どもは、2回接種しなければならないのでかなり高額になり助成制度を作ってほしいという署名活動です。署名は、会員の皆さんのがんばりのおかげで2,400筆ほど集まり今年の3月議会で請願が全会一致で採択され良かったと思いました。

次の問題は、公共交通です。江南市には、いこまいカーという制度があります。でも前日予約をしなければならないし料金もかなり高額です。私たちは、東郷町の公共交通の見学に行きましたが65歳以上と子どもは、無料なのでとても羨ましく感じました。

便利な公共交通を江南でも実現するためにみんなで相談して行動していきたいと思っています。



華 心 会

河 井 仙 子



女性連絡協議会発足から30年、私たち生けばなを愛する華心会も30年、皆様と共に親しく歳月を重ね、いろいろな行事に参加させていただき心から感謝いたします。

池の坊は、日本の伝統文化の一つとして今日まで長い歴史に育てられてきました。

花を生けることは、日々の暮らしに安らぎや潤いをもたらし、豊かな感性を養う大切な文化の一つだと考えています。

そんな想いを会員全員で確認し合い、日々楽しみながら研鑽に励んでいます。

資格取得を目指して真剣に花と向き合う人、玄関に飾り来訪者の一声が嬉しいと楽しみしている人、花を生けるより日々のストレス発散とばかりにおしゃべりに花を咲かせる人などなどそれぞれですが、いつも和やかで笑いの絶えないお稽古風景です。

江南市女性連絡協議会の種々の活動にも積極的に参加させていただきました。

生け花は、花材と花器と飾る場所があってこそ成り立ちます。花を選び、器を選び、飾る場所の条件を考えて一花一花を、手と足を使い声かけながら楽しめます。

文化会館での講演会では演台に大きく飾らせていただきます。緊張感と充実感は作品となった後に喜びとなって帰ってきます。

共同作業で大作に挑むことがあります。連帯と絆が深まり、優しいこだわりの心が育まれたように思います。

これからも仲間作りや活動に参加させていただき楽しい人生を紡いでいきたいと願っています。



清 香 会

武 田 美 代 子

江南市女性連絡協議会 30 周年おめでとうございます。

この 30 年ともに活動してき仲間たちの顔を思い浮かべながら、これまでの活動がなつかしく思い起こされます。そして、私も皆様と一緒にこの会に参加できる喜びを感じております。

私ども清香会も、市民フェスタの茶席では、古知野西小学校の茶道部クラブの生徒を参加させていただき、皆様に楽しんで茶会に参加していただけるよう毎年工夫をこらしてお客様をお迎えしております。

これから 40 周年に向かって更なる発展を願い、会員の皆さまとともに清香会も男女共同参画に貢献していきたいと思っています。



「くるみの里」友の会

～これからも感謝を込めてくるみの里は頑張ります！～

岩田 さつき

江南市女性連絡協議会が設立された翌月、江南の地に「くるみの里」は誕生しました。そして早30年、数々の歴史が刻まれました。借家からプレハブに、その次に立派な建物へと、遅々たる歩みですが確実に成長を遂げてきたと思います。ホームが出来、パン屋さんが出来、でも、私たちの活動に終わりはありません。利用者一人ひとりの将来を考え、安心して生活できる場所をもっともっと築いていかなければなりません。

江南市女性連絡協議会と共に、これからも感謝を忘れず歩み続けて行きます。



くるみの里平成 16 年 9 月 1 日開所



ケアホームくるみ平成 23 年 4 月 1 日開所

くるみのパン屋さん平成 24 年 3 月 5 日オープン



くるみの家平成 25 年 12 月 1 日開所

くるみのお店平成 25 年 12 月 1 日開所



エコライフ クラブ

栗本 明美

平成7、8年の環境委員会のメンバー有志4人で環境問題を考えるクラブとして、平成9年に発足しました。現在メンバーは8人です。

江南市女性連絡協議会の他に、くるみの里ボランティアグループ「リスの会」、こうなんエコチャレンジ推進協議会に所属し、「いま、私たちに出来る事は何か」と、日々の暮らしの中で環境問題に関心を持って活動をしています。

くるみの里ボランティアグループ「リスの会」ではくるみの里のバザー手伝いの他に宮田学供で月2回不要になった布を利用して手作り品を作成し施設に寄付をしています。

平成25年より江南市環境学習アドバイザー派遣事業に参画し、環境学習プログラム「菜の花栽培」「あいちの伝統野菜を体感してみよう～ネギパン作り～」 「ふろしきでエコバック」を登録し、市内保育園、小学校、図書館で年間10回程活動しています。

買い物袋持参運動、COP10関連行事、あいち・なごやESDフェスタにも参加し、大変充実した活動を共に元気に取り組んでこられたことは感慨深いものがあります。

気力、体力の続く限り健康第一にて、今しばらく頑張っていきたいと思えます。



ふみ代会

西川 布未代

江南市女性連絡協議会のお仲間に入れていただき、ふみ代会も20年経とうとしております。皆様に助けていただきながら、楽しくまた励まされて、今を迎えることが出来ました事を感謝しています。

ふみ代会は、日本舞踊を基に、阿波踊りや盆踊りなど、いろいろな踊りにチャレンジし、仲間を作り、創意工夫しながら楽しんでできました。これが女性連絡協議会の仲間です。

型や形にこだわらず、自分で感じたものを自分らしくありのままに手足に託す。その動きが言葉の代りとなり、そして舞となり、人を惹きつけるのだと思います。

私はこのような感じで、仲間のつながりを大切に思っています。皆様と楽しくおけいこすることに、生きがいを感じながら、常に新しいことに挑戦することが大切だと思っています。



ふれあいコーラス

小 森 洋 子



ふれあいコーラスは、平成7年（1988年）の江南市社会教育講座からひき続き自主グループとして、平成8年に発足しました。前身のわかばコーラス（平成元年発足）と、平成14年に合併して古知野西公民館で活動してきました。

内容は、親子でふれあいながら歌える歌や、懐かしい曲、ずっと伝えていきたい名曲と、障がいのあるなしに関わらず、みんなで一緒に楽しめる手話コーラスの曲をとりまぜ「誰でも、楽しく、明るく、元気に、歌いながら健康増進を目指すグループです。

2005年の愛知万博では、愛知お祭り広場のステージにも立ちました。5月25日の11時から30分間のステージで、手話コーラスを11曲披露しました。会場に来てくださった若者や家族連れ、お年寄りまで大勢の皆さんが手話を覚えて一緒に歌ってくれました。年配の方から「うみやもんだなあ」と言って頂いた言葉が、私たちの一生の思い出になりました。

また、発足当初から続けている施設やサークルの慰問も楽しみな交流です。

サンライフ江南、第2サンライフ江南、サンライフむつみ、ジョイフル江南、第2ジョイフル、フラワーコート、デイサービスあゆみ、ときわ作業所、くるみの里、しらゆり作業所、ジョイフル布袋、ケアハウスふじの郷、はじまり、ふぁみりい憩苑、さくら荘、リーバーステージ岩倉、デイサービスいわと、江南JA女性クラブ、宮田サロン、古知野西保育園、扶桑幼稚園等、たくさんの出会いがありました。

そして、わかばコーラスから続いている「江南ふれ愛女性のつどい」から「江南男女共同参画市民フェスタ」でのステージ発表。越智君のピアノ演奏や、まのあけみさん、梅原司平さん、ナターシャ・グジーさん・くるみの里の皆さんと一緒にステージに立ったこともとても良い思い出です。

これからも、色々な個性を持った人々を差別したりされたり、排除したりされたりということのない多様性を受け入れる寛容な社会の一助になれば嬉しいです。



Bangladesh Education Support Association (BESS)

森崎 芳子

2009年（平成21年）に会を立ち上げ、次の4つの活動を行っています。

① BSDP スクールを中心とする小学校の子どもへの教育支援活動



校舎3棟を建てました。



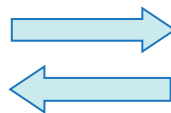
毎年400名前後の小学生達に、文具・教科書等の支援をしています。

② 国内でのフェアトレード活動と現地女性たちの自立支援活動

現地女性達が作った民芸品を正当な価格で買い上げ、日本のフェアトレード活動で販売し、その収益は Bangladesh の小学校の子ども達の教育支援や女性達の自立支援に当てています。江南市藤祭り、江南市民祭り、江南市女性映画会、国際交流フェスティバル、犬山まつり、各務ヶ原桜まつりなど、年20回程ボランティアでフェアトレード活動をしています。



現地女性による民芸品など制作活動



フェアトレード活動の収益で現地の女性や子供たちの支援をする。



③ 里子支援活動

5年間里親をしてくださる方を求めています。（年13,000円）



日本の里親に支援を受けて学校に通う子どもたち（令和2年度41名）

④ 国際理解活動

国際理解講座を通して、Bangladesh や世界の貧困な国について理解してもらい、助け合いの気持ちを深め、広めていきます。



ガールスカウト愛知県第 11 団

「お仲間に入って」

東 村 怜 子



江南市女性連絡協議会 30 周年おめでとうございます。
多くの事業、幾多の困難を乗り越え 30 周年を迎えられました事と存じます。
まさに団結と継続は力なりと敬服しております。
ガールスカウト愛知県第 11 団がお仲間に入れてもらって数か年が経ちます。
江南市女性連絡協議会代表の高田様を中心に、会員の皆さまと交わり、共に話をする機会の中で、ただ教えられた日々でした。

一昨年は、江南市女性連絡協議会、ガールスカウト愛知県第 11 団と共に江南市補助事業に挑戦し、その 1 年間は充実したものでした。その期間中、江南市女性連絡協議会の皆さまにはお世話になりました事改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

ガールスカウトの活動の中心は、未来ある子どもたちに、社会に役立つスキルを磨き、素晴らしい女性に成長できるように導き、支援するのがガールスカウト成人の役目です。

以前より、社会情勢は少子化、高齢化の大波が続いております。ガールスカウトもその波に巻き込まれ、子どもや大人の確保に苦労している現状です。ガールスカウト活動の基本は、約束とおきてがあります。

活動のポイントとして、自己開発。自己肯定感を高める。人との交わり。人との協調性を養う。自然と共に。人と自然の共存。3つの活動をヒントとして、五感をフルに使い、体験、経験を積むことを重視しております。これらを、それぞれ年齢にあった、事業計画を立案し、実施できるよう、ガールスカウト会員で頑張っております。

これからに向けて、江南市女性連絡協議会の益々のご発展と皆様の健康を願ってお祝いの言葉といたします。



瑞 優 会

坂 田 優 子



江南市女性連絡協議会 30 周年おめでとうございます。
30 年の多岐に亘る素晴らしい活動は、代表始め会員の皆
さまの大変な努力の賜物と存じます。

「瑞優会」は、昨年入会させて頂いたばかりの新入会員で
す。これといった特徴もなくおこがましい限りですが、少
しでもお手伝いできればとおもいます。

以前職場で一緒に働いていた仲間と 30 年ぶりにばったり再会。各々主婦ですがボランテ
ィアや趣味を通じて活動していたのを、気持ちを一つにして「瑞優会」を発足しました。
モットーは「健康で豊かな心で年を重ねましょう」と。

時折、茶華煎茶道を通じて、介護施設への訪問や呈茶、料理教室、季節の花を生け、寄
せ植え等楽しんでいきます。

協議会への入会で、江南市、各地域社会への貢献、会員同士の親睦、視野を広げることが
出来勉強させていただきたいと思えます。

今後ともよろしくご指導お願い申し上げます。



フラダンス・カ・ノエ・リコ・レフア

尾 関 幸 代

～ バアテさんの功績にふれて ～

私は、昨年7月に江南市女性連絡協議会に入会させていただきました。

高田代長を筆頭に諸先輩方は30年という年月を男女が平等である為に、又、女性の地位の向上のために活動されてきた事を知りました。

8月29日から31日と国立女性教育会館で「バアテ・シロタ・ゴードン展」が開催されました。バアテさんの功績をたたえた展示物と今までの活動の映像を鑑賞し、更にバアテさんのお嬢さんニコル・ゴードン氏の特別講演にも参加させていただきました。



日本の女性の為に「男女平等」の世の中に日本もなるべきと、勇気を振り絞って発信し、日本国憲法第24条に大きく関わってくれたバアテ・シロタ・ゴードンさんという女性を生涯忘れてはならないと思いました。

今なお引き継がれているバアテさんの活動に感銘するとともに、微力な私ですが諸先輩方に導いて頂きながら「男女平等」と発しなくてもいい世の中になるためにこの活動に邁進したいと存じます。

わたなべメソッド

渡 邊 百 合 子

「人生、置かれた場所で咲きなさい」

”人生いろいろ“とはよく言ったもので、人はそれぞれの生き方、暮らし方が有ります。そして、その中で人生の楽しみ方も様々です。

“私の人生の楽しみ方”

☆体は“丸ごと一つ”と捉え、何時も体から意識を外さず、感謝をして、動かし続ける。そして最後まで心も・体も元気で、歌ったり・踊ったりと、人生を楽しみながら全うしたいと思っています。

☆今の日常は、自分で考案した体操「いきいき声出し 命の体操」、そして芸事の渡邊流「民謡ゆりの会」、「舞踊ゆりの会」を立ち上げて日々忙しく生徒さんと共に練習に励んでいます。

☆何よりも嬉しいのは、皆さんがそれぞれ楽しんでやっという事です。

これからも“一日が一生”と思い、昨年入会した江南市女性連絡協議会の皆さんと、私なりの花を咲かせていきたいと思っています。



人生いろいろ

杉本 武子

江南市女性連絡協議会に入会するきっかけは、当時江南市生涯学習課の指導により、江南市にある10校の小学校のうち布袋小学校と古知野東小学校に設けられた婦人学級でした。私は、布袋小学校の学級委員で集った婦人学級の級長でした。そこへ古知野東小学校の級長高田さんがお誘いにいらっしゃいました。

その後平成2年に江南市女性団体が発足し、高田さんに誘われ、団体名「中央婦人学級（タンポポ）」で入会しました。

お互いの情報・意見交換、親睦を深めつつ素晴らしい友達の輪が広がりました。

中でも映画委員長として、平成6年第1回ふれ愛映画会から第25回まで関わったことは色々勉強になり、いい経験が出来ました。中でも印象に残っている映画はペンギンを飛ばせたい園長と飼育係の奮闘物語「旭山動物園」です。仲間と動物園を見に北海道まで行き、水槽の中でペンギンが飛んでいるのを見て感動しました。



また、平成7年2月、建設されて間もない「すいとぴあ江南」で開催された「女性のつどい」において、義兄杉本和則による記念講演「遺伝子 DNA の不思議な世界」を開催できたことは本当に忘れられない思い出です。

さて、近年順風満帆な私の人生に陰りが出始め、家庭の事情もあって平成31年に連絡会を辞めることになりました。現在はおまけの人生だと思って日々健やかに過ごすことを心がけています。皆様とつながりが持てたことを大変嬉しく思っております。有り難うございました。皆様のご活躍ご健勝を願っています。

この写真は、岐阜県恵那市岩村町にて、映画上映に向けて現地見学。

追伸

「岩村城のおんな城主おつやの方は大変聡明で美しく、領民に慕われていたそうです。」八百年余年の歴史を持つ三万石の城下町として、今も城山に本丸をはじめとする石垣を残す日本百名城のひとつ岩村城跡をはじめ、重要伝統的建造物群保存地区に選定された歴史の町並み（岩村本通り）や数多くの旧跡を有する、情緒あふれる史跡観光の町でした。